



1月22日に開会した第196回通常国会は、182日を経て去る7月22日に閉会を迎えました。半年間にわたる会期中で、かねだ代議士は、自民党・幹事長代理として、二階幹事長と共に政策、国会対応に取り組んだほか、新潟県知事選挙など選挙対策として現地に応援にも入りました。

また、今夏は大阪北部地震や西日本の豪雨など、大きな災害もありましたが、現地で党を代表して被災地の視察を行い、総理と政府に対応策の申し入れを行いました。国会最終の7月20日には、野党が提出した内閣不信任案に対して、自民党を代表して反対討論を行いました。

一方、地元にとって大切な県知事や市町村からの数多くの要望を、国の政策責任者に届け、実現を図るための活動にも、しっかりと取り組んでまいりました。

国会での対応と、皆さんの声を国に届ける仕事の両方に、かねだ代議士は全力で頑張っております。かねだ代議士の、今年前半の国会の活動の様子を、写真と共にご紹介させていただきます。



野党が提出した内閣不信任案に対して、自民党を代表して衆議院本会議場で反対演説を行うかねだ代議士。



国会最終日、総裁や幹事長など執行部が集まり国会内で懇談。



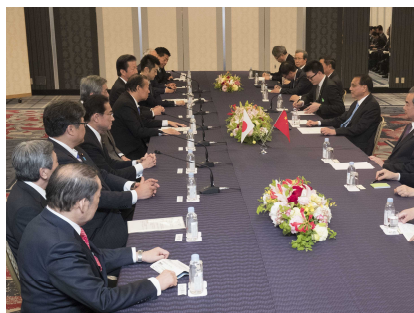
大阪北部地震や西日本豪雨災害への対応について総理、幹事長と意見交換。



竹下総務会長らと、豪雨災害の被災地を視察。



小泉筆頭副幹事長ら、党の若手議員の皆さんと党改革について意見交換。



初来日された中国の李克強首相と面会。(与党幹部の1人として出席)



県知事より要望書を受け取る代議士。しっかりと国に伝え、実現につなげる約束を。



国会の合間を縫って地元の各地で国政報告会を開催。